≪2019年1月(通算269回)月例会報告≫

ボッチャ体験会&

Non-Borderボッチャ交流会 (2月11日) 実行委員会

講師:佐藤妙子(豊島区スポーツ推進委員)

コーディネーター:岸 卓巨 (NPO法人サロン2002事務局長)

【日 時】2019年1月18日(金)19:00~21:40(終了後は「はなの舞茗荷谷店」23時過ぎまで)

【会 場】桐陰会館(筑波大学附属中高敷地内)

【テーマ】ボッチャ体験会&Non-Border ボッチャ交流会(2月11日) 実行委員会

【講 師】佐藤妙子(豊島区スポーツ推進委員)

【コーディネーター】岸卓巨(NPO 法人サロン 2002 事務局長)

【参加者(会員・メンバー)7名】

安藤裕一(GMSS ヒューマンラボ)、大河原誠二(桐窓サッカー倶楽部)、岸卓巨(サロン 2002 事務局)、嶋崎雅規(国際武道大学)、皆川宥子(東京大学大学院)、中塚義実(筑波大学附属高校)、守屋俊秀(世田谷区サッカー協会)

【参加者(未会員)6名】

岸弘子、岸弘之(豊島区スポーツ推進委員)、佐藤妙子(豊島区スポーツ推進委員)、土井伸一(NEC ボッチャ部)、長尾樹(TEETER TOTTER)、守屋佐栄

【報告書作成者】岸卓巨

【趣旨(事前案内より)】

「ボッチャ」はパラリンピック種目かつ共生型スポーツであり、近年は多くの企業や団体でも交流プログラムとして導入されています。多様なメンバーが集まり、「スポーツを通した"ゆたかなくらし"」を"志"に掲げるサロン 2002 にはぴったりなスポーツだと考えられます。

そこで、サロン 2002 では 2 月 11 日に「Non-Border ボッチャ交流会」を企画しました。現在、参加チームを募集しております。

一方で、NPO 法人サロン 2002 として「ボッチャ交流会」を開催することは初めてであり、会員・メンバーの中にはボッチャをやったことがない方もいます。そこで、2019 年 1 月の月例会では、公開型の

ボッチャ体験会兼交流会に向けた実行委員会を開催します。また、月例会後半は交流会の第2部をイメージし、食べ物・飲み物を片手に参加メンバーでボッチャを楽しめればと思います。

交流会に参加いただける方も、交流会当日はスケジュールが合わない方も、ぜひ月例会にご参加ください。サロン 2002 に入会されていない方の参加も歓迎です。

【内容】

<19:00~:参加者自己紹介、趣旨・概要説明(和室)>

桐陰会館の和室に集まり、参加者自己紹介を行った後、コーディネーターの岸より本日の月例会の趣旨と2月11日に予定している「Non-Border ボッチャ交流会」の趣旨及び準備状況について説明した。主な説明内容は以下の通り。

- ➤ サロン 2002 は「スポーツを通してのゆたかなくらしづくり」を志として掲げており、その実現に向けて、年齢・国籍・性別・スポーツ経験などの違いを越えて交流できるイベントとして「Non-Border ボッチャ交流会」を企画した。もともと、サロン 2002 の事業として「Non-Border フットサル」を実施していたが、桐陰会館の限られたスペースでも実施でき、より多様な人たちが参加できるスポーツとして「ボッチャ」を採用した。
- ▶ 個人参加・チーム参加合わせて、現状として 100 名を超える参加者申込があり、年齢や国籍が異なる人たちに参加いただける見込みである。24 チーム前後が結成できる見込みである。
- ▶ 参加者のボッチャ経験は様々であり、全くやったことがない人も半数以上いることが予想される。
- ▶ 佐藤妙子氏を中心にボッチャ大会運営経験が豊富な豊島区スポーツ推進委員に説明や審判について協力を依頼し、承諾いただいている。
- ▶ 第1部では申込単位でのリーグ戦、第2部ではくじ引きにより参加者を混ぜてのノックアウト戦を 実施したいと考えているが、何チームずつのリーグを編成するかや会場に何面コートを設置するか、 コートのサイズをどのくらいにするかなどは決まっていない。事前に作成してきたたたき台を元に 本日の月例会で決定したい。
- ▶ 当日は午前中から桐陰会館を予約しており、準備開始の時間は柔軟に決定できる。
- ▶ ボッチャをプレーするだけでなく、団体紹介デスクの設置やネパールで青年海外協力隊としてボッチャの普及活動を行っている浅見氏に協力いただいてのネパールの子どもたちとのボッチャ交流、ボッチャバーの設置などを計画している。

岸からの説明に対して以下のような意見・情報が出された。

- ▶ ボッチャ未経験者が多い中で、交流会でいきなりボッチャを行うことは難しいのではないか。交流 会の中で時間の都合上、体験する時間が持てないようであれば、交流会開始前に未経験者を対象に ボッチャ体験会を実施してはどうか。
- ➤ ボッチャ愛好者が見る web ページにも交流会の案内を掲載したことから、これまでサロン 2002 と直接関係がなかった人も交流会に注目している。個人申込者の中にはボッチャ経験が豊富な人もいる。
- ▶ 第1部はチーム数を減らしたグループを複数作りリーグ戦を行った後、順位決定戦を行った方が進行を早くできる。
- ▶ 1 ゲーム 2 エンドで行った場合、1 試合 10 分は短いのではないか。

<19:40~:レイアウト・リーグ編成検討(ホール)>

ホールに移動し、レイアウトやリーグ編成について相談した。レイアウトについては、当初4面作ることを想定していたが、1つのコートを小さくすることで6面作ることができるのではないかとの意見が出された。また、通常は6個ある投球ボックスについて、参加者数がチームによって異なることや参加者の中には車椅子の方もいることから2個にした方がいいのではないかとの意見が出された。そこで、実際にコートを作った。コート作りは佐藤氏の解説のもと行い、初めてボッチャを行うメンバーにとってコート作成方法を覚える機会にもなった。リーグ編成については、6面で実施した場合、4チームリグを作成することでスムーズに進行できることが確認された。

<20:00~:ボッチャルール解説・体験(ホール)>

佐藤氏の解説のもとボッチャを体験した。月例会参加者の中には初めてボッチャをプレーする人もいたが、適宜質疑応答を行いながらルールを確認し、交流会当日に審判を行うイメージを掴んだ。

<20:20~:ボッチャゲーム体験(飲食開始) (ホール)>

月例会参加者を3つのチームに分けて、リーグ戦を行った。また、この時間から食事を開始し、当日の軽食提供・ボッチャバー設置のイメージも確認した。リーグ戦では、ボッチャの審判経験がないメンバーも積極的に審判を務め、審判方法をマスターできるように心がけた。交流会の趣旨に鑑みて、一部ボッチャ公式ルールから変更する点についても確認した。

<21:00~:レイアウト決定・リーグ編成決定(ホール)>

実際にボッチャを行った感想をもとに、当日はコート6面を作ることを決定した。通常のボッチャよりも小さなコートであるが、その方がボッチャ経験値によるレベル差も出にくく、全ての参加者が楽しみやすくなるなどの意見が出された。巻尺で長さを図りながら、ホール内にどのようにコートを配置するか、コート間の広さはどの程度にするかなどレイアウトを決定した。6面で実施するこを決定したことに伴い、リーグ編成についても4チーム×6リーグで実施する方向でスケジュールを組むことが合意された。

<21:15~: 片付け・資料室見学>

ホールの片付けをした後、中塚理事長案内のもと桐陰会館内の資料室を見学した。資料室には、現在 大河ドラマ「いだてん」で取り上げられている金栗四三氏や嘉納治五郎氏の資料も展示されており、交 流会参加者も興味を持つ可能性が高いため、当日開放することが決定した。また、開放時はいずれかの スタッフが資料室担当として立ち会うことが確認された。

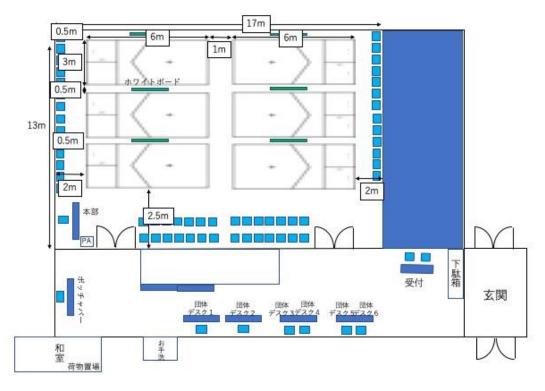
月例会で出された意見などを岸が集約し、実際の交流会の運営計画を作成することが確認され、月例会は終了した。





【参考資料】

○レイアウト



第1回

Non-Border ボッチャ交流会 2019年2月11日(月)



会場:桐陰会館

主催: NPO 法人サロン 2002

協力:豊島区スポーツ推進委員



第1回 Non-Border ボッチャ交流会 開催要項

【目的】

年齢・性別・国籍・スポーツ経験などの違いを越えて交流し、「スポーツを通した"ゆたかなくらし"」を目指すことを目的とする。

【交流会の特徴】

- (1) 年齢・性別・国籍・スポーツ経験などに関わらずどなたでも参加できます。チーム(3 名~6 名)でも個人でも参加いただけます。
- (2) 様々な団体と交流ができます。また、会場内の団体デスクを活用して、団体の PR や協力 者募集などができます。(営利目的での利用はご遠慮ください)
- (3) 会場内にボッチャバーを設置し、飲み物(アルコール含む)を片手にボッチャや他団体との交流をお楽しみください。
- 1 日 時 2019年2月11日(月) 13時~17時30分
- 2 場 所 桐陰会館(筑波大学附属中学・高校敷地内)
- 3 主 催 NPO 法人サロン 2002
- 4 協力 豊島区スポーツ推進委員、ネパールボッチャ協会
- 5 賞品提供 セノー株式会社
- 6 プログラム 第1部:参加申込単位でのリーグ戦(個人申込者については主催者側でチーム編成を行う)

第2部:くじ引きで決定した混合チームでのノックアウト戦

- ※団体デスク+ボッチャバー設置
- 7 競技規則 本交流会申し合わせ事項に定める以外は、「日本ボッチャ協会競技規則 2017-2020」を適用して行います。
- 8 参加費 一人1000円(保険代含む、1ドリンク+スナック付き)
- 9 持ち物 体育館シューズ・靴袋
- 10 その他 (1)記録・広報の為、写真撮影を行います。
 - (2)本大会の申し込みにおいて知り得た情報は本大会運営に関する目的以外には利用または第三者に開示及び提供しません。

第1回 Non-Border ボッチャ交流会 申し合わせ事項

本大会は、年齢・性別・国籍・スポーツ経験などの違いを越えて交流し、「スポーツを通した"ゆたかなくらし"」を目指すことを目的としています。そのため、基本的には「日本ボッチャ協会規則2017-2020」に則りますが、一部競技規則を緩和することを本交流会申し合わせ事項とします。

- 1 第1部、第2部を通して、スローイングボックスを2枠に減らしたコートで実施します。
- 2 第1部の試合形式は、各ブロック4チームによる予選リーグを行った後、同順位同士で2チームずつ対戦し、総合1位3チームを決定します。第2部の試合形式はノックアウト方式とします。
- 3 第1部は2エンド、第2部は1エンドとします。
- 4 第1部はタイブレイクは実施せず、2 エンドで勝敗が決しない場合、引き分けとします。第2部は、各チーム1球でタイブレイクを実施します。(先攻、後攻はじゃんけん)
- 5 第1部はリーグ戦が終了した時点で、勝点(勝利3点・引き分け1点・敗戦0点)の合計が多い チームを上位とし、順位を決定します。ただし、勝点が同一の場合は、得失点差・総得点数・ 当該チーム間の対戦成績の順序により決定します。
- 6 1 エンドにつき3名~6名のプレーヤーが順番に投球し、エンド内での投球順の変更は行わないでください。対戦チームとプレーヤー数を合わせる必要はありません。
- 7 今回の大会では、バイオレーション(反則行為)については、基本審判の注意にとどめます。 ペナルティを課さないで試合進行を行います。

本来のルールより下記の行為について注意しましょう!

- ※審判からどちらのサイドになるか指示板が出る前や相手サイドの指示板の時に投球しない。
- ※ボールを放つ際にボックスのラインに触れたり、踏んだりしない。
- ※他のプレーヤーを妨害したり競技の進行を故意に遅らせるような行為をしない。
- 8 練習投球は、各チーム初戦の試合前のみでお願いします。
- 9 試合の進行は、試合状況により長引いたり、短かったりします。そのため、試合順序やコートが変更になったり、試合開始が早まる場合もあります。試合の合間には、団体デスクや資料室なども自由に見学いただければと思いますが、試合の順番になり3分間経過しても、当該チームが3名以上コートに揃わなかった場合、不戦敗としますので、ご注意ください。

第1回 Non-Border ボッチャ交流会 タイムスケジュール

※交流会前11:30よりボッチャ体験会を行う。

時間	プログラム
12:30~13:00	受付
13:00~13:20	開会式 (開会挨拶・ルール・進行説明・始球式 from ネパール)
<第1部:予選リー	グ> 6 コートに別れて 4 チームごとのリーグ戦
13:30~13:45	1試合目
13:45~14:00	2 試合目
14:00~14:15	3 試合目
14:15~14:30	4 試合目
14:30~14:45	5 試合目
14:45~15:00	6 試合目
<第1部:順位決定	戦> 同順位同士のチーム同士(2 チーム)で対戦
15:15~15:30	Aコート: Aコート4位 対 Bコート4位
	Bコート: Cコート4位 対 Dコート4位
	Cコート: Eコート4位 対 Fコート4位
	Dコート: Aコート3位 対 Bコート3位
	Eコート: Cコート3位 対 Dコート3位
	Fコート: Eコート3位 対 Fコート3位
15:30~15:45	Aコート: Aコート2位 対 Bコート2位
	Bコート: Cコート2位 対 Dコート2位
	C コート: E コート 2 位 対 F コート 2 位
	Dコート: Aコート1位 対 Bコート1位 Eコート: Cコート1位 対 Dコート1位
	Fコート: Cコート1位 対 Dコート1位
16:00~16:20	表彰式•集合写真•第2部進行説明
10.00 10.20	グサペ 火口 1× 2/1 HVC 11 M/71
<第2部> 当日く	じ引きで決定した混合チームによるノックアウト戦
16:30~16:45	1 回戦
16:45~17:00	2 回戦
17:00~17:15	準決勝
17:15~17:30	決勝
17:30	閉会式

<第1部予選リーグ組み合わせ>

	< A=>	A-1	A-2	A-3	A-4
		個人参加A	CLARK A	アワシャーレ	チーム総スポ
A-1	個人参加A		1試合目	6試合目	3試合目
A-2	CLARK A			4試合目	5試合目
A-3	アワシャーレ				2試合目
A-4	チーム総スポ				
	< B⊐-ト >	B-1	B-2	B-3	B-4
		個人参加B	チーム総スポB	CLARK B	高体連研究部
B-1	個人参加B		1試合目	6試合目	3試合目
B-2	チーム総スポB			4試合目	5試合目
B-3	CLARK B				2試合目
B-4	高体連研究部				
	< C=>	C-1	C-2	C-3	C-4
		個人参加C	Be ambitious !	TEAM 584 (こばし)	豊島区 スポーツ推進委員
C-1	個人参加C		1試合目	6試合目	3試合目
C-2	Be ambitious !			4試合目	5試合目
C-3	TEAM 584 (こばし)				2試合目
C-4	豊島区 スポーツ推進委員		0		

	< D⊐-ト >	D-1	D-2	D-3	D-4
		monkey kicks	JSC / Team鴨ちゃん	日本ネパール協会	TEETER TOTTER
D-1	monkey kicks		1試合目	6試合目	3試合目
D-2	JSC / Team鴨ちゃん			4試合目	5試合目
D-3	日本ネパール協会				2試合目
D-4	TEETER TOTTER				
	< E⊐ - ト >	E-1	E-2	E-3	E-4
		夏目漱石	川崎ボッチャーレ	JSC∕ Teamマホさん	Team Chol
E-1	夏目漱石		1試合目	6試合目	3試合目
E-2	川崎ボッチャーレ			4試合目	5試合目
E-3	JSC∕ Teamマホさん				2試合目
E-4	Team Chol				
	< F⊐ - ト >	F-1	F-2	F-3	F-4
		スポーツ庁 ボッチャ部	チームバンコク	チームケニア	TEETER TOTTER
F-1	スポーツ庁 ボッチャ部		1試合目	6試合目	3試合目
F-2	チームバンコク			4試合目	5試合目
F-3	チームケニア				2試合目
F-4	Horie				

<参加者>

No	チーム名	メンバー(敬称略) 先頭:代表者 〇:運営スタッフ兼		
A-1 個人参加 A		陣内峻○、三津間香織、田村和秀、坂上利明、守屋俊秀○、		
		守屋佐栄○、大河原誠二○		
A-2	CLARK A	青山啓二、遠藤たける、石原だいすけ、小島優子、矢澤みづき		
A-3	アワシャーレ	小嶋美代子、平野裕人、新堀美穂、辻田淑乃、		
A-4	チーム総スポ	乳井勇二、秋和真澄、石川直、山口真緒、森心		
B-1	個人参加 B	清水絢子○、堀井信子、川島一弘、見澤利美、村山恵子、関秀忠○、		
		松下徹○		
B-2	チーム総スポ B	デュモン真樹子、デュモンクロエ、高野文子、兼本智仁、畠山和子、勝香純		
B-3	CLARK B	飯塚淳平、齋藤じゅに、上田しほ、二見健太、大西えいじ		
B-4	高体連研究部	中塚義実〇、嶋崎雅規〇、塩田伸隆、鞠子智秋、柳澤左門、佐藤雄大〇		
C-1	個人参加 C	野口亜弥〇、伊藤良子、板倉篤、織田伊吹、土井伸一〇、笹原勉〇、		
		皆川宥子○、		
C-2	Be ambitious!	本田康弘、飯塚真史、伊佐拓哲、内藤敬		
C-3	TEAM 584(こばし)	阿部篤志、阿部涼乃、阿部いと葉		
C-4	豊島区スポーツ推進委	岸弘之○、佐藤妙子○、寺門孝史○、佐藤三吉○、鎌田佳子○、		
	員	加来剛〇、岸弘子〇		
D-1	monkey kicks	田口智章、田口孝子、田口侑資		
D-2	JSC/Team 鴨ちゃん	鴨下拓也、別所綾子、原将史、山口恵梨香		
D-3	日本ネパール協会	道端ひさな、サラド・ゴーチャン、サラマ・プラシッダ、サラマ・プラスン、		
		プダサイニ・アピカル、横田朝美、サミプ・ゴウチャン、サンタ・プダサイニ、		
		シッタ・サルマ		
D-4	TEETER TOTTER	長尾樹○、熊谷雄一、塩川大輔、廣瀬丈士、中塚眞悠○		
E-1	夏目漱石	田島璃子、櫻井歩美、池田駿介、後藤光正、三上周一郎		
E-2	川崎ボッチャーレ	鶴井純一朗、上野進、冨田泉		
E-3	JSC/Team マホさん	神澤宜征、原田真帆、山田佐知子、木間奈津子		
E-4	Team Chol	伊藤政則、アヨム チョール マッコール ニョック、相良優子、		
		アデモラ オラビシ アレ		
F-1	スポーツ庁ボッチャ部	樋口慎二郎、勝又正秀、黒沼一郎、矢野直香、村上貴洋		
F-2	チームバンコク	伊藤妃芽香、原徳子、朝比奈大輔、新部遥希		
F-3	チームケニア	岸卓巨〇、永井拓海、藤本健司、牧ちさと、大木圭佑、岸清馨〇、岸大睦		
F-4	Horie	酒井翔太郎、堀江悠太、松岡加織		
	運営スタッフ	岸卓巨、中塚義実、嶋崎雅規、笹原勉、笹原佐永子、関秀忠、松下徹、		
		大河原誠二、皆川宥子、佐藤雄大、守屋俊秀、守屋佐栄、土井伸一、		
		野口亜弥、長尾樹、陣内峻、岸弘之、岸弘子、岸清馨、佐藤妙子、		
		寺門孝史、佐藤三吉、鎌田佳子、加来剛、中塚眞悠		

<団体紹介デスク>

会場内に以下の団体のデスクを設置し、活動紹介・チェリティー販売などを行います。

団体名	活動内容など
チーム総スポ	私たちチーム総スポは、日本体育大学総合スポーツ科学研究センタ
(資料配布)	ーで、大学の 研究に関わる手続きをおこなったり、東京 2020 オリン
	ピック・パラリンピックに向けて、学校でのオリンピック・パラリンピック教
	育の普及やパラリンピック参加国のサポートなどをしています。
アワシャーレ ☆	アワシャーレは、多様性と絆のある社会をつくるため、講演・研修やコ
(チャリティー販売)	ンサルなど提供しています。今回はボーダーレスなチームで参加しま
	す。みなさんとの交流で挑戦する仲間が増えることを楽しみにしてい
	ます。障害者が製作した雑貨も販売しますので、ブースにもお越しく
	ださいね!
TEETER TOTTER	TEETER TOTTER では、「コンディショニング」で身体の調子を整え、
(資料配布)	お客様が長く健康を維持するための身体づくりをサポートしていま
	す。マッサージや鍼灸による施術と運動療法を組み合わせたコンディ
	ショニングプログラムを提供しております。スポーツ傷害やパフォーマ
	ンスに関する相談も承っておりますので、お気軽にお問い合わせくだ
	さい。
チームケニア ☆	チームケニアはアフリカ・ケニアを支援する「KESTES」と「アフリカ雑貨
(チャリティー販売)	Machakos」の合同チームです。「KESTES」では経済的に進学が難し
	い子どもたちへの奨学金支援、「アフリカ雑貨 Machakos」ではものづ
	くりの指導・販売を通して障がい者支援活動を行なっています。ブー
	スでの売り上げは現地ケニアでの支援活動に活用させていただきま
	す。
Team Chol ☆	私たちは、チームメイトのチョール(南スーダン国籍)を支援するチー
(支援者募集)	ムです。彼は、日本の高校の卒業式を終えたばかり。南スーダンと日
	本の懸け橋となるために、あと 2 年間日本で勉強し、人脈を築いて、
	ビジネスの基礎を作りたいと熱望しており、そのための支援者を募集
	しています。
日本ネパール協会 ☆	私たちは、公益社団法人日本ネパール協会と NPO 法人ネパール野
(資料配布等)	球ラリグラスの会の合同チームです。日本ネパール協会は、日本とネ
	パールの民間相互の友好・協力関係を発展させることを目的に、ネ
	パール野球ラリグラスの会は、「野球で広がる笑顔の輪」をモットー
	に、それぞれが日本とネパールで精力的に活動しています。
NPO 法人サロン 2002☆	NPO 法人サロン 2002 は、スポーツを通しての"ゆたかなくらしづくり"
(活動紹介・入会受付)	という"志"に向けて活動する異業種ネットワークです。全国各地の学
	校関係者、スポーツ指導者、メディア関係者、医者や弁護士、アーテ
	イストなど多種多様なメンバー約 100 名で構成されています。様々な
	テーマで毎月開催している月例会では、次回2月27日に270回目と
	してサロン 2002 で運営している「U-18 フットサルリーグ・チャンピオン
	ズカップ」を取り上げます。入会受付中です。

<ボッチャバー>

会場内にボッチャバーを設置し、ソフトドリンク・ビール・ワイン・コーヒーなどを販売いたします。アルコール類は 15 時に販売を開始します。飲み物片手にボッチャや他の団体との交流をお楽しみください。収益は、7 ページに記載されている出展団体(☆をつけている団体)の活動に寄付いたします。ドリンク購入時に寄付先を選んでいただくことも可能です。

<ネパールとの国際交流>

開会式もしくは第 1 部終了時に、青年海外協力隊としてネパールに赴任し、現地ボッチャ協会で活動中の浅見明子さんとインターネット中継を繋ぎたいと考えています。浅見さんには活動の様子を紹介いただく他、活動先の特別支援学校の子どもたちとボッチャを通じた国際交流を計画しています。ボッチャの世界的な広がりやボッチャが国際交流のツールになることを体感できればと思います。

<TOKYO2020 にメッセージを届けよう!!>

参加者の皆さんから「2020 年以降に残したいスポーツのいいところ」や「交流会で感じたスポーツの価値」などのメッセージを集め、TOKYO2020大会期間中にさまざまな形でお披露目します。これは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)が展開する「i-PLAY TRUE トーチリレー」の一環で実施するものです。会場内にメッセージボードを設置しますので、試合の合間にぜひお書きください。





プロジェクトの詳細はこちらからご覧いただけます。 https://playtrue2020-sp4t.jp/jp/



<資料室>

桐陰会館は筑波大学附属高校・東京教育大学附属高校・東京高等師範学校附属中学校の卒業生の同窓会である「桐陰同窓会」が創立120周年を記念して設立した施設です。施設内に卒業生や学校の歴史を紹介する資料室が設置されています。今、大河ドラマ「いだてん」で話題の金栗四三氏・嘉納治五郎氏などの功績も展示されています。ぜひご自由にご覧ください(資料室内での飲食は禁止)。

<イベント写真について>

後日、サロン 2002 の Facebook ページにて交流会の写真を公開させていただきます。ぜひご覧ください。

NPO 法人サロン 2002 Facebook ページ https://www.facebook.com/salon.2002/



SNS に投稿される際は #nonbordersport #salon2002 のハッシュタグでご投稿ください









本イベントは「SPORT FOR TOMORROW」認定事業として実施します。

本イベントは国連が定める持続可能な開発目標(SDGs)の「目標 10 不平等の解消」、 「目標 17 パートナーシップで目標を達成しよう」への貢献を目指します。

SPORT FOR TOMORROW は、2020 年に行われる夏季オリンピック・パラリンピック競技大会を東京 に招致する際、IOC 総会において安倍晋三首相が発表したことをきっかけに始まった 日本政府が推進する スポーツを 通じた国際貢献事業です。2014 年から 2020 年までの 7 年間で、開発途上国をはじめとする 100カ国・1000 万人以上 を対象としたあらゆる世代の人々にスポーツの価値を広げていく取組みです。